

触媒

Vol. 33
No. 3
1991

SHOKUBAI
(CATALYST)

時評

八嶋 建明 触媒学会発展の途…………… 193

特集「光触媒」

総説

齊藤 泰和 遷移金属錯体の光脱水素触媒作用… 194
和田 雄二, 森川 陽

固体表面上における金属カルボニルの光化学——触媒活性種調製への利用…………… 202

佐藤 真理 半導体粉末による水の完全光分解… 209
大倉 一郎, 青野 重利

ポルフィリンを光増感剤とする太陽エネルギーの化学エネルギーへの変換…………… 215

安保 正一 高分散担持触媒上での光触媒反応と光誘起反応——分子レベルでの反応機構…………… 221

相田 卓三 金属錯体を用いる二酸化炭素の化学的固定反応——最近の進歩…… 230

トピックス

田中 啓一 フロンの光分解…………… 236

中 礼司 光脱臭技術…………… 238

実験技術シリーズ

田中 庸裕 XAFSスペクトル解析法…………… 241

朝倉 清高 EXAFS測定技術(サンプル調製)… 244

資料

参照触媒を用いた測定法の標準化——5. アンモニアの昇温脱離法によるゼオライトの酸性質の測定法…………… 249

レポート

触媒学会
Catalysis Society of Japan